



TITLE:

たより

AUTHOR(S):

石井, 峰男

CITATION:

石井, 峰男. たより. 天界 1930, 11(116): 68-68

ISSUE DATE:

1930-11-25

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/161597>

RIGHT:

た　よ　り

拜啓、初秋の砌貴會益々御隆昌奉賀候。

陳者、我が天文同好會は、本年九月を以て創立滿十箇年を迎へ、事業内容といひ、外部的發展といひ、全國無二の大發展大隆盛を來し、創立以來の會員として喜悅に不堪茲に謹みて衷心より御祝詞申上候。顧みれば十年前私事未だ岡山縣明治小學校に奉職致候節、山陽新報にて、京大山本助教授（當時）御發起の下に天文同好會なるもの創立せりとの報を見、平素天文方面に何よりの趣味を有する私事は、即日入會申込み、暫くして會員名簿（一枚紙にて表裏刷）を受取り見れば、岡山縣下に於て創立當時の會員は、私事と、目下岡山支部に大活躍中の水野千里氏の二人のみにて、實は會員の少なきに驚きたる次第。其の後、未見の水野氏より何くれとなき親しき通信やら、御指導を受け、私事は職を投げ捨てゝも同好會本部に入り、又、山本先生の御指導にあづかり度く、考へ居た矢先、佐々木氏の訃あり、山本一清先生よりも再三出京を促され、意を決して上京する間に、郡當局の怒にふれ、種々なる事情起りて遂に其の意を果さず、悶々の日を送りたる事等思ひ出し、感慨無量に候。其の後、私事現在の福山南小學校に轉じ相變らず本部より御送附被下さる天界に勞を慰められ、愉快に天文研究を繼續致居申候、終りに臨み、本會創立十周年に當り、茲に謹みて御祝詞申上げ、併せて、益々健全に御發展あらん事を祈り、擱筆仕候。

昭和五年九月二十日

福 山 市 南 小 學 校

創立以來の天文同好會員　石　井　峰　男

天文同好會御中

諏　訪　の　一　夜

（去る十月二十二日河西氏宅にて）

三澤氏 『太陽黒點が東邊から西邊へ移動して行く時は餘り大した變化が無いのに、それが西邊にかくれて、二週間の後、東から現はれる時には、いつも大變化をしてゐる。』

山本氏 『過去數十年來のことだが、太陽東邊の紅焰の方が、いつも西邊の紅焰よりも多い。』

兩　人 『サテは、太陽のあちら側に、いつたい何があるのだろうか!!?』